

2人の議員が 町政を問う。

Q 住民が一番知りたいことを放送することが、安全・安心の町に。

A 情報伝達等は極めて重要。



狩野正雄議員

受信機器購入事業でどのくらい設置がすすんでいますか。

(答弁) 吉田町長

今回の大震災は鹿追町にとっても色々な教訓を残しており、災害発生時の情報伝達は極めて重要と考えます。

(質問) 3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害をもたらしました。災害時の情報伝達は大変重要です。正しい情報が速く伝わるためには防災放送の設備や受信機器の整備が欠かせません。

防災無線放送の聞き取りにくい地域の調査や対応、

1点目の質問ですが、街頭放送の設備を鹿追で2基、瓜幕で1基増設し拡声器の方向を調整してます。戸別受信機の購入事業により合計709台を設置、今回も補正予算により1台1万円助成を行います。

(質問) 住民から先日の選挙で結果の放送がなかったことについて問い合わせがありました。定時放送やそれ以外の放送で内容の基準を設けていますか。

(答弁) 吉田町長

選挙管理委員会の判断によって、放送されなかった



防災無線放送機器

狩野正雄議員

防災無線放送の拡充で安全・安心の町に



飯沼新吾議員

然別湖の旧北電寮の有効活用は



Q 然別湖休養林施設（旧北電寮）の有効活用は、

A 維持管理をし、運営を決断する時期。



飯沼新吾議員

(質問)

然別湖休養林施設（旧北電寮）は、昭和54年北電より無償で譲渡されて以来、すでに32年が経過しています。施設の老朽化に伴い建物の維持管理のためにすでに1千3百万円以上が使われています。長年にわたり遊休施設として経過していることもあり活用方法のアイデアを募るなど積極的に検討し決断する時期ではないでしょうか。

(答弁) 吉田町長

然別湖休養林施設は、北電より鹿追町に無償譲渡を受けた昭和54年で建設後、

すでに20数年経過しております。

当時町としては、職員厚生施設としての利用を考慮しておりましたが、譲渡時に宿泊施設としてはいけないという条件等がありまして思い通りの活用ができませんでした。その後、運用検討委員会を設置し様々な提案をいただきましたが、それらも多額の費用を要するため具体化されませんでした。

平成5年に写真の展示場や平成18年1月にこのままでは建物が朽ち果てるということで環境省の公園管理事務所と相談させていただき、民間による有効活用を進めました。諸般の事情により中止されました。

その後、町に戻していた。だき、建物を保存するという視点から国の補正予算を財源として修繕を行いました。

風光明媚な然別湖の施設として、今後価値を高めることが可能と考え維持管理をして運営していく決断をする時期だと考えています。



旧北電寮

ナイター 議会の 傍聴に、 来ませんか。

9月の定例会は9月7日から22日の日程で開催が予定されています。13日午前10時から一般質問を、20日には決算委員会をナイター議会（18時）で予定しています。この機会に議会の傍聴に来てみませんか。詳細は役場議会事務局まで66-4039



つぶやき

■秋には道東道が全線開通し、道央圏と直結。たくさんの人が十勝に来てくれるといいなあ。経済効果に期待。